

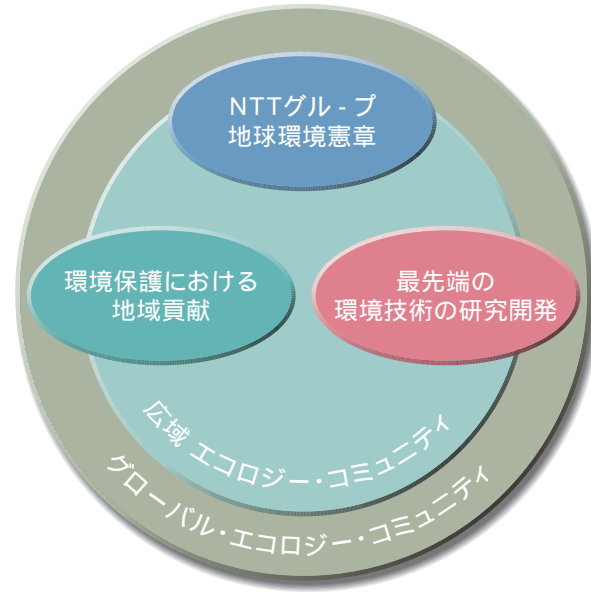
経営と環境をリンクさせた NTTグループ・エコロジー・プログラム21。

環境を考えると、 企業の明日の経営を考えると

http://www.ntt.co.jp/kankyo/2002report/qa/chapter1/q04_2.html

現在、私たちが直面している地球環境問題は、これまでの社会システムが原因だと言われています。私たちの事業活動も密接に関わっていると戒めています。こうした基本認識に立ち、将来の世代に禍根を残さない持続可能な社会の実現に向けて、事業活動と地球環境保護を両立させていきます。そのための基本コンセプトがNTTグループ・エコロジー・プログラム21。NTTグループが情報流通企業として、環境保護に対して積極的に対応する姿勢と、環境に関する情報の広がりによって、環境に貢献していくことを意味しています。

それら一つひとつの取組みは、地域を出発点として、グループを挙げて取り組み、さらにグローバル・エコロジー・コミュニティの形成に貢献できるよう、展開していく計画です。



NTTグループ地球環境憲章

人類が直面している地球温暖化、オゾン層破壊、熱帯林の減少、酸性雨、海洋汚染などの深刻な地球環境破壊は、これまでに築き上げてきた社会システムに起因しており、企業の事業活動がこれに密接に関わっていることを深く認識する必要があります。企業として、将来の世代に禍根を残さないよう持続可能な発展に向けて真摯な姿勢で事業活動と地球環境保護を両立させなければならない。かかる基本認識に立ち、ここにこれら地球環境問題に対するNTTグループとしての基本理念と、具体的取組みを方向づけるための基本方針を明示する「NTTグループ地球環境憲章」を定める。

【基本理念】

人類が自然と調和し、未来にわたり持続可能な発展を実現するため、NTTグループは全ての企業活動において地球環境の保全に向けて最大限の努力を行う。

【基本方針】

- 1 - 法規制の遵守と社会的責任の遂行
環境保全に関する法規制を遵守し、国際的視野に立った企業責任を遂行する
- 2 - 環境負荷の低減
温室効果ガス排出の低減と省エネルギー、紙などの省資源、廃棄物削減に行動計画目標を設定し、継続的改善に努める
- 3 - 環境マネジメントシステムの確立と維持
各事業所は環境マネジメントシステムの構築により自主的な環境保護に取り組み、環境汚染の未然防止と環境リスク低減を推進する
- 4 - 環境技術の開発
マルチメディアサービス等の研究開発により環境負荷低減に貢献する
- 5 - 社会支援等による貢献
地域住民、行政等と連携した、日常的な環境保護活動への支援に努める
- 6 - 環境情報の公開
環境関連情報の公開により、社内外とのコミュニケーションを図る

長期（2010年）目標

- 紙資源節減 純正パルプ使用量を1990年の20%以上を削減する。
- 温暖化防止 CO₂排出量を1990年レベル以下とする。
- 廃棄物削減 廃棄量を1990年レベルの85%以上を削減する。

1 「NTTグループ地球環境憲章」

http://www.ntt.co.jp/kankyo/2002report/qa/chapter1/q04_1.html

「NTTグループ地球環境憲章」は、グループの地球環境問題に対応する基本的な認識を示したもので、「環境保護における地域貢献」「最先端の環境技術の研究開発」と並び「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」を構成する一つの柱です。本憲章の基本方針には、より具体的な環境負荷低減策や環境

マネジメントシステムの構築・維持、社会支援、環境情報の公開などを示しています。本憲章に則り環境経営を推進するために、「NTTグループ地球環境保護推進委員会」のもと、NTT（持株会社）をはじめ各社に環境保護を推進する組織などを設け、それぞれが具体的な活動を展開しています。

2 環境保護における地域貢献

http://www.ntt.co.jp/kankyo/2002report/qa/chapter1/q07_1.html

地球環境保護の取組みは、地球規模で考え地域から活動を展開することが重要と考えています。そこで「環境保護における地域貢献」を「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」の第2の柱とし、地域における環境保護推進活動を重視し、地域に根ざした多様な活動を展開しています。その主なものとして、昭和60年から各地域で清掃ボランティア活動を継続している「環境クリーン作戦」と、地域コミュニティを形成することを目的に設置した「エコロジー・コミュニティ・プラザ」があります。

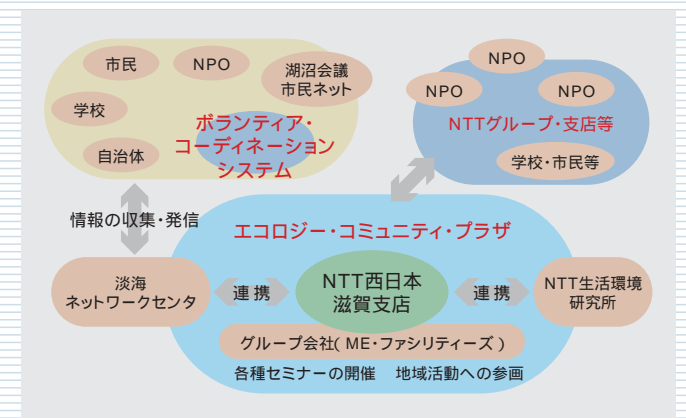
【エコロジー・コミュニティ・プラザ】

プラザでは、地域の皆さまとともに地球環境保護に向けたネットワークの構築や、また情報提供や情報交換が行える場所を提供することを目的としています。具体的にはNTT東日本岩手支店とNTT西日本滋賀支店がモデル支店として、また、NTT東日本青森支店がインターネット上でプラザを開設し、自治体などと協働して地域に密着した多様な環境保護活動を展開しています。

こうした支店の取組みの成果を検証しつつ、全国への展開を計画しています。

NTT西日本滋賀支店では、エコロジー・コミュニティ・プラザ開設記念イベントとして、琵琶湖の環境保護を目的に、「NTT西日本環境クリーン作戦2001in滋賀」を実施しました。

NTT東日本岩手支店/NTT生活環境研究所では、エコロジー・コミュニティ・プラザの活動の一環として、環境教育の推進と定着化を図ることを目的に意見交換の場のワークショップを開催しました。県内4地点を情報ハイウェイで結んだテレビ会議システムによって、活発な意見交換が行われました。



滋賀支店エコロジー・コミュニティ・プラザ

3 最先端の環境技術の研究開発

http://www.ntt.co.jp/kankyo/2002report/qa/chapter3/q05_1.html

NTTグループは、環境技術の研究開発が地球環境問題の解決への重要な道と考え、「NTTグループ・エコロジー・プログラム21」の第3の柱として「最先端の環境技術の研究開発」を掲げています。研究開発は、NTT生活環境研究所、NTT通信エネルギー研究所を中心にグループ各社においても積極的に行っています。

研究開発の柱は、①ITを活用した持続可能な社会の仕組みを作ること、②環境負荷低減に貢献することの2つです。①には、道路環境評価システム、デジタルテストシステム、電子投票システム、②には、燃料電池、廃光ケーブルリサイクル、ディーゼルエンジンの燃料改質装置などがあります。

(これら技術の一部については13頁～16頁に記載しています)